

## 総 評

数学がたいへん難しく、理科と英語もやや難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。

道コンなどの模擬試験は、実際の入試と同様、広い範囲から網羅的に出題される特徴があります。模試でのミスは、以前に学習した内容のうちどれが定着していないかを知る手がかりになります。間違えた問いの一つ一つについて、「なぜ間違えたのか」を考え、解き直しをすることで、知識が整理され、確実なものになります。

入試など実際に問題を解く場面において、知識をどのように活用するのか、という、「活用する力」をつけるには、実は「慣れ」は大きな要素です。入試に向けて単元ごとに基礎的な知識を整理する勉強を日々行いながら、実戦的な問題にも取り組むことで、使える「解法」や「考え方」のパターンを増やしていきましょう。

## 国 語

標準的な出題となりました。

㊦は、比較的良好に解答できていました。㊦は、問一と問三の得点率が低くなりました。特に、問一が難しかったようです。発言部分を見つける際のポイントについて、解説を読みながら確認しましょう。㊦は、問三の得点率がやや低くなりました。「段落の初め」を書き抜く問題でしたが、段落の二文目の初めを書き抜いている人が多くいました。問題文で、何を解答するよう言われているのかを、正確に把握するようにしましょう。㊦は、問一の得点率が低くなりました。活用形を間違えている人が多かったです。動詞の活用について、復習しておきましょう。㊦は、全体的によくできていました。指定形式の不備がやや見られたので、問題文で提示されている条件を見落とさないように気をつけましょう。

## 数 学

たいへん難しい出題となりました。

㊦は確率と2次方程式からの出題でした。確率でミスをしたためには、「どのような場合にそうなるのかの見通しのもとに数え上げることが大切です。

㊦は2乗に比例する関数の出題でした。文字を用いて線分の長さや面積を表すことに慣れましょう。

㊦は得点率がたいへん低くなりました。平行四辺形が長方形やひし形になるための条件を確認しましょう。証明では、「 $\triangle DAF$ は二等辺三角形である」など、仮定から言えないことを使おうとした答案が目立ちました。

㊦のような図形と関数との融合問題は、入試に向けて重要です。座標や傾きから式を作る手順は、グラフからの出題と同じですから、苦手意識を持たずに挑戦してみましょう。

## 社 会

やや易しめの出題でした。

地理分野は、㊦問2(2)㊦でナイジェリアの輸出品としてカカオ豆を選択した答案が多く、得点率が非常に低くなりました。また、世界地理、日本地理ともに雨温図の問題の得点率が低くなりましたので、間違えた人は各地域の気候の特徴を教科書等で確認しましょう。歴史分野では、㊦問3(4)、㊦問2の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。並べかえ問題は入試で必須ですので、苦手な人は年表等で歴史の流れを確認しましょう。公民分野は、㊦問2、問4など基本的な問題はよくできていました。各分野とも、記述問題では、資料をもとにせずに行ったり、指定語句を書き忘れたりといった、確認不足の答案が見られましたので、問題文をよく読んで解答するようにしてください。

## 理 科

やや難しい出題でした。

㊦は基本事項に関する出題が中心でしたが、一部の問題で得点率が低くなりました。間違えたところや解答するのに悩んだものはしっかりと復習しましょう。㊦は、難問がなかったこともあり、全体によくできていました。㊦は、問1はできていたものの、それ以降の正答率が低くなりました。問2では「導」の漢字の書き間違い、問4(1)では指定語句を書いていない答案が目立ちました。㊦は、問1と問2が非常に難しく、苦戦した人が多かったようです。問1(2)と問2は、表の数値をもとにして反応に関わった物質や反応後の物質の質量を求める必要があり、難しいものでした。㊦は、問5の得点率が低くなりました。柱状図に標高を書き入れると考えやすくなります。

## 英 語

やや難しい出題でした。

英問英答には、㊦本文中の語句や表現を使って答える問題と、㊦自分の考えを英語で自由に表現する問題があります。㊦は指示にしたがい、時制や複数形などの細かい文法ミスに注意しましょう。㊦はスペルミスや表現の不備に気をつけながら、正確な英語で自分の考えを表現しましょう。

㊦のリスニングは、どの問題もあらかじめ選択肢に目を通し、何が問われるか予想してから音声を聞きましょう。そのうえで、「誰が」「いつ」「何をするか」「何をしたか」などの情報を正確に聞き取りましょう。

㊦の英作文は(2)と(3)が難しかったようです。これまでの学習で苦手な文法がある人は、教科書の基本文を英訳したり和訳したりして練習しましょう。